

## 鎌倉市教科用図書採択検討委員会（第3回）会議録

日 時 平成30年7月4日（水） 15：00 開会  
16：45 閉会

場 所 鎌倉市役所 402 会議室

出席者 露木委員 伊藤委員 杉並委員 三好委員 磯部委員 星委員  
中村委員 河合委員 山本委員 横山委員

事務局 石川教育指導課長 太田指導主事 竹澤指導主事  
池邊指導主事 上指導主事

次 第

1 開 会

2 議 事

(1)説明、協議等

ア 調査員会の説明及び検討、協議等

会議内容

○ 開 会

○ 会 議

委員長 鎌倉市教科用図書採択検討委員会の第3回委員会を開催します。本日の議事録署名委員を磯部委員と山本委員にお願いします。

それでは、本日の流れについて事務局から説明をお願いします。

事務局 では、説明させていただく。まず、最初に資料の確認をさせていただく。

鎌倉市教科用図書採択検討委員会調査員会調査資料、学校調査票のまとめ、神奈川県教育委員会中学校用教科用図書調査研究の結果については、前回ご覧いただいた資料と同じものである。新たに、本日皆様にお配りしている資料は、「平成31年度使用中学校教科用図書調査研究報告書（案）6者分」になる。これは前回、第2回委員会でご協議いただいたものを事務局でまとめたものになる。

本日は検討委員会最終回なので、協議が残っている2者分をまず行い、その後、報告書（案）を元にし、検討委員会の報告書をまとめる作業となる。2者の協議が終わった後に、まとめ作業について再度説明する。

まず、残っている2者分の協議からお願いします。

委員長 今、事務局から説明があったが、そのような方向で協議を進めようと思うがよいか。

(質問なし)

委員長        それでは前回と同様に、調査員の報告資料に基づき、残っている2者を発行者ごとに質疑や意見をいただき、評価について協議する。前回から時間が少し空いてしまったので、2者に関する調査研究の時間を再度10分程度取るので、確認をお願いします。

その後、調査員の報告についての質疑をいただく。質疑の後、暫時調査研究の時間をとり、協議に入らせていただく。以上。

委員長        それでは調査研究を終了し、協議に入る。まず、廣済堂あかつきについて、質疑や意見はないか。

委員            道徳教材として長く取り扱われている教材を多く取り扱っているため、目新しさがないように感じる。出典が全く書いていないことが、この話はどこに載っているのか分からなくて残念と感じる生徒もいるのかなと感じる。

委員            読み物資料が中心になっているが、スタンダードな教材を多く取り入れているということは誰もが読みやすいものが載せられていると感じる。道徳の教科書には、「学習の手がかり」が載っている。その中で共通の課題が黄色い文字で載せられており、説明が2, 3行で書かれていることは使いやすく評価できる。しかし、教科書としては大きく、重くないだろうか。

委員            あかつきの特徴は道徳ノートではないか。教科書本体にボリュームがあり、道徳ノートにもボリュームがある。また、出典が出ていないのが気になる。裁判員制度について触れている話については目新しさを感じた。

委員長        他者でも別冊があったと思うが。

委員            こうあるべきという書かれ方をしているように感じる。

委員            自分が中学生だとしたら、教科書のページとノートがぴったりリンクしていないことから、見返したときにどれがどれかわからないのではないかと感じる。指導にも生かしく感じる。

委員            思いやりや命に関する資料が全学年で3作品ずつのせている。読み物として5から6ページあるので、少し分量が多い気がする。

委員            豊富な教材、発展的に扱える教材が多いということではないか。

委員            話し合いの記録も回数が少ない。自己評価や振り返りなどの扱いは使いやすく感じる。ま

た、本体に問いが3つずつあるが、良いと思う。

委員 1年生の教科書の62頁に島耕作が載っているが、その「学習の手がかり」には「正義感がうまく伝わらなかったのはなぜか」と示されている。これは、議論が広がり過ぎず混乱を招かない。学習の方向性がみえているということで、良いのではないかと思う。

委員 ノートがあるのは良いと思うが、ノートの言葉が難しくはないか。学習指導要領の言葉をそのまま使っていることが多いような気がする。「郷土」や「自然の崇高さ」など。

委員長 最後に日本教科書について質疑や意見はないか。

委員 質問の項目が少なく、担任が自由に授業を組み立てられるのではないかと思う。

委員 3年間を通しての指導として、「リョウとマキ」というのが、1、2、3年生全部の教科書に出ていて、リョウとマキという中学生二人の成長が示され、生徒も共感しやすいのではないか。日本教科書は内容項目順に配置されているが、他者では内容項目がコンスタントに配列されている。やはり中学生にとって、コンスタントに学んでいくことが大切ではないか。

委員 全体的に見て白い部分が多く、すっきりしていてシンプルに感じる。読みやすい。「ペーパーワード」という絵だけのページがあるが、想像をして学びを深めていくのは難しいかもしれないが、面白くも感じる。LGBTについての教材があるなど、幅広い教材が載っている。

委員 写真が多くてきれいだ。しかし、装丁にある写真には偏りを感じる。リョウとマキなどの話は担任の先生にとって内容的に考えると読むのが気恥ずかしく、扱いにくく感じる人がいるのではないか。

委員 写真が多く、国内に目を向けているのがわかる。偉人に関する話も多い。それも国内のものが多く、海外に目が向いていない。また、現代的な課題についての教材が少ない。偉人や歴史などの昔からある教材から学ばせようという意図があるのではないか。

委員 歴史上の人物を取り上げ、26頁には吉田松陰、66頁には加納治五郎についての教材があるが、自分事として捉えられるような書かれ方で用意されていて、素敵だと感じる。

委員 道徳的な趣旨を明確に打ち出しているように感じる。議論につながっていくのではないか。最後のページに3年間の心の成長度合いがまとめられるように編集されているのは良いのではないか。

委員長 では、これで日本教科書については終わりにする。8者すべての協議が終了しました。次

の流れについて、事務局より説明をお願いする。

事務局 前回の検討委員会で御協議いただいたことをもとに、事務局の方で作成した6者分の報告書原案について確認をお願いしたいと思う。また、残る2者についても出来上がり次第、この検討委員会の中で確認いただく。

第2回の検討委員会で、特にご意見をいただいた、①教材の並び順など構成の違い、②目標やめあての提示の仕方、③考える道徳・議論する道徳のため、活動を中心とした教材かどうか等をポイントとし、まとめたので、文章に各教科書の特徴的な内容が記載されているかをご確認いただきたい。その際に適切な用語が使われているか、字句の修正等についても検討いただきたい。

また、課題の提示、別冊、目標やめあての提示、教科書の大きさ、挿絵・イラスト、そして、考える道徳・議論する道徳にむけたロールプレイ（役割演技）や体験的な学習の記載などについて、各教科書の特徴的なものが文章に記載されているかをご確認いただき、不十分なものがあれば意見を伺う。

今回が最後の検討・協議となるので、前回の検討・協議内容と本日いただく意見を踏まえ、それぞれの教科書に特徴的なもの、盛り込んでいきたい表現などについてもご意見をいただき、最終の総合評価の協議をお願いする。

委員長 それでは、これから時間を取るのので、報告書案を読む時間としたい。

（報告書案検討）

委員長 報告書案についての質問や、委員の方でこの教科書について、この表現を盛り込みたいというものなどがありましたら、ご意見をいただきたい。まず、東京書籍についてはどうか。

委員 自分の考えを「見える化」とあるが、この表現はどうか。趣意書の中には見える化ということは書かれていないが。

事務局 表現を改めるよう検討する。

委員長 続いて、学校図書についてはいかがか。

委員 万引き・薬物は「今日的」ではなく昔から続くものではないか。

委員 「実在する」というのはどうか。

委員 「万引き」「薬物」を削除しても良いのでは。他者には「万引き」「薬物」を課題とした教材はないのか。

事務局 他者には載っていないので、学校図書の特徴である。「今日的」のみ検討してはどうか。

委員 「反社会的」というのはどうか。

委員 「万引き・薬物を題材とした資料や」にすればどうか。

委員長 そのような表現でよいか。

委員 「10のマーク」について載せると「良い」として認識されていくということか。

事務局 特徴として客観的に載せている、ということである。

委員 「4つの内容項目の教材」について、言葉を補う必要はないか。

事務局 「4つの視点」が正しい。

委員長 「4つの視点」について詳しく説明する必要はないか。

伊藤 学習指導要領上は「視点」と書かれている。

事務局 どちらを指しているか調べて、訂正する。

委員長 続いて、教育出版についてはいかがか。

委員 「色々な視点から考えさせ」と「多面的・多角的に考えさせ」は同じではないか。

委員 繰り返し体系的とあるが体系的とは言えないので「体系的」を削除したほうがよい。  
また、「定番」という言葉も気になる。

委員 「定番」を「長く読み継がれている」ではどうか。

委員 「死刑制度、地球環境、ドナーカードについて等、現代的な課題」とあるが、ドナーカードについては現代的な課題といえるのかどうか。

委員長 ドナーカードを削除するのはどうか。

委員 大人でも答えが出にくいことにつながっているということか。

委員 「現代的な課題も多く取り上げている。」を削除するのはどうか。

委員 「道徳の別の時間の中で」も削除するとよいのでは。

委員長 続いて、光村図書についてはいかがか。

委員 配列についての報告が入っていないが。年間を4つのシーズンに分けられ、という意見が出ていたと思うが、それを入れたほうが良いのでは。

委員 入らないなら、無理に入れなくてもよい。

委員 調査員の資料には、並び順についてはないが。

委員長 最後の二行を削るか。

委員長 続いて、日本文教出版についてはいかがか。

事務局 プラットフォームを「プラットホーム」に訂正する。

委員長 続いて、学研教育みらいについてはいかがか。

委員 「学習に重点を置いており」とあるが、趣意書では重点テーマは違う。教材としてスポーツを中心として取り扱っていることはあると思うが。

委員長 「テーマとした学習に重点を置いており」を削除すればどうか。

委員長 続いて、廣済堂あかつきについてはいかがか。

委員 「スタンダード」だと標準的という意味になってしまうが。

委員 長く読み継がれてきただけで良いと考える。

委員長 「スタンダード」を削除でよい。また、調査書に沿って記載するなら、「物語教材」ではなく「感動教材」ではないか。

委員長 続いて、日本教科書についてはいかがか。

委員 スポーツに「関る」となっているが、「関わる」でないか。表記揺れがある。

委員 道徳的価値へのメッセージ性が感じられ、に違和感を感じる。

事務局 「道徳的価値へのメッセージ性が感じられる教材が多くある」を削除するのはどうか。

委員 道徳的価値へのメッセージ性は強く出ている特徴があると感じるが。

委員 「郷土や伝統文化、昔の話や道徳的価値へのメッセージ性が感じられる教材などを多く扱っており」でいかがか。

委員長 それでよいと考える。

委員長 それでは、意見も出尽くしたようですので、以上ですべての協議を終了します。報告書の最終的な文言の調整については事務局並びに副委員長と私にお任せいただきたいがよろしいか。

(異議なし)

委員長 最後になるが、検討委員会としてここまで検討を重ねてきた。今後、教育委員会で採択に向けての会議が行われるわけだが、検討委員会として、どの発行者が鎌倉市として採択するに相応しいかを意見としてうかがう。

委員 東京書籍、光村図書

委員 光村図書、日本文教出版

委員 東京書籍、教育出版、光村図書

委員 光村図書、日本文教出版

委員 教育出版、光村図書

委員 光村図書、日本文教出版

委員 東京書籍、光村図書、日本文教出版

委員 日本文教出版、光村図書

委員 東京書籍、教育出版、光村図書

委員長 日本文教出版、東京書籍、光村図書、学校図書

委員長 検討委員会としては、東京書籍、光村図書、日本文教出版を推す意見が特に多かったということになる。

委員長 それでは、以上をもって鎌倉市教科用図書採択検討委員会第3回を閉会する。